

労働時間の延長及び休日の労働は必要最小限にとどめられるべきであり、労使当事者はこのことに十分留意した上で協定するようにしてください。
なお、使用者は協定した時間数の範囲内で労働させた場合であっても、労働契約法第5条に基づく安全配慮義務を負います。

<凡例>
■：入力必須
赤字：入力例
青字：上限文字数

- ◆ 3 6 協定で締結した内容を協定届（本様式）に転記して届け出てください。
- ◆ （任意）の欄は、記載しなくても構いません。

時間外労働
休日労働に関する協定届

様式第9号の3の5（第70条関係）

労働保険番号	<div>〒<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/></div> <div>都道府県 所管 管轄 業種番号 種番号 統一括弧事業番号</div>
法人番号	<div><input type="text"/></div>

労働保険番号・法人番号を入力してください。

事業の種類	事業の名称	事業の所在地（電話番号）	協定の有効期間 【事業場外】
道路貨物運送業	※54文字以内	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 〇〇市〇〇町1-2-3 ※65文字以内	協定期間 〇〇年〇月〇日～〇〇年〇月〇日 延長することができる時間数 1日 1ヶ月（①については45時間まで、②については320時間まで） 1年（①については360時間まで、②については320時間まで）
時間外労働	事由は具体的に定めてください。 業務の範囲を細分化し、明確に定めてください。 時間外労働をさせる必要のある具体的事由 業務の種類【事業場外】 労働者数（満19歳以上の者） 所定労働時間（1日）（任意） 1日 法定労働時間を 超える時間数 所定労働時間を 超える時間数 法定労働時間を 超える時間数 所定労働時間を 超える時間数 法定労働時間を 超える時間数 所定労働時間を 超える時間数	20人 7時間30分 5時間 45時間 55時間 360時間 410時間 10人 7時間30分 5時間 5時間 45時間 55時間 360時間 410時間 3人 7時間30分 3時間 3時間 42時間 52時間 320時間 370時間 5人 7時間30分 2時間 2時間 20時間 30時間 200時間 320時間 1人 時間 時間 時間 時間 時間 時間 1人 時間 時間 時間 時間 時間 時間 1人 時間 時間 時間 時間 時間 時間	1日の法定労働 時間を超える時間 数を定めてください。 1か月の法定労働 時間を超える時間 数を定めてください。 ①は45時間以内、 ②は42時間以内で す。 1年の法定労働時 間を超える時間数 を定めてください。 ①は360時間以内、 ②は320時間以内で す。
休日労働	事由は具体的に定めてください。 業務の種類【事業場外】 労働者数（満19歳以上の者） 所定休日（任意） 労働させることができる 法定休日の日数 労働させることができる 法定休日における始業 及び終業の時刻	20人 ※57文字以内 3人 ※57文字以内 1人 ※57文字以内	2時 ※64文字以内 9時 23時 ※30文字以内 1面 ※64文字以内 1面 ※30文字以内

協定書の内容に合わせてプルダウンから選択若しくは自由入力欄に入力する必要があります。

対象期間が3か月を超える1年単位の変形労働時間制が適用される労働者については、②の欄に入力してください。

この協定が有効となる期間を定めてください。
1年間とすることが望ましいです。また、事業場外の業務について入力する場合は、「下段（括弧あり）」へ協定が有効となる期間を入力する必要があります。

1か月及び1年の法定労働時間を超える時間数を入力する場合、1年間の上限時間を計算する際の起算日を入力してください。
その1年間においては協定の有効期限にかかわらず、起算日は同一の日である必要があります。

業務の種類が4つを超える場合は続紙を使用します。

業務の種類が4つを超える場合は続紙を使用します。

始業の時刻と終業の時刻を入力してください。
時刻を入力することができない場合は、休日において労働させることができる時間数の限度について、自由入力欄に具体的な内容を入力してください。

時間外労働と法定休日労働を合計した時間数は、月100時間未満、2～6か月平均80時間以内でなければいけません（自動車運転の業務に従事する労働者を除きます）。これを労使で確認の上、必ずチェックを入れてください。チェックボックスにチェックがない場合には、有効な協定届とはなりません。

※いずれの入力欄についても、文字数が収まらない場合には、「別添のとおり」と記載の上、協定の内容がわかる資料を添付してください。

時間外労働に関する協定届（続紙）
休日労働

様式第9号の3の5（第70条関係）

2 / 2

必ずページ数及び総ページ数を入力してください。

	時間外労働をさせる 必要のある具体的事由	業務の種類 〔事業場外〕	労働者数 （満18歳以上の者）	所定労働時間 （1日） （任意）	延長することができる時間数							
					1日		1年（④については360時間まで、 ⑤については320時間まで）		1年（④については360時間まで、 ⑤については320時間まで）			
					法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 （任意）	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 （任意）	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 （任意）		
① 下記の 該当しない労働者	事業計画・経営企画の策定、見直し	管理的職業従事者	10人	7時間30分 〔 時間 分 〕	3時間 分	3時間 分	30時間 分	40時間 分	250時間 分	370時間 分		
	※44文字以内	※54文字以内										
	その他（事由不明を含む。）	分類不能の職業	20人	7時間30分 〔 時間 分 〕	2時間 分	2時間 分	15時間 分	25時間 分	150時間 分	270時間 分		
	※44文字以内	※54文字以内										
			人	時間 分 〔 時間 分 〕	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分		
	※44文字以内	※54文字以内										
			人	時間 分 〔 時間 分 〕	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分		
	※44文字以内	※54文字以内										
	② 1年単位 の実形労働時間 規制により労働 する労働者	新規事業・プロジェクトの立ち上げ	専門的・技術的職業従事者	10人	7時間30分 〔 時間 分 〕	3時間 分	3時間 分	20時間 分	30時間 分	200時間 分	320時間 分	
		※44文字以内	※54文字以内									
その他（事由不明を含む。）		分類不能の職業	20人	7時間30分 〔 時間 分 〕	3時間 分	3時間 分	20時間 分	30時間 分	200時間 分	320時間 分		
※44文字以内		※54文字以内										
			人	時間 分 〔 時間 分 〕	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分		
※44文字以内		※54文字以内										
			人	時間 分 〔 時間 分 〕	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分		
※44文字以内		※54文字以内										
休日労働		休日労働をさせる必要のある具体的事由	業務の種類 〔事業場外〕	労働者数 （満18歳以上の者）	所定休日 （任意）		労働させることができる 法定休日の日数		労働させることができる 法定休日における始業 及び終業の時刻			
		機械の故障等のトラブルへの対応	専門的・技術的職業従事者	10人	土日祝		1ヵ月		8時～17時 30分～30分			
	※44文字以内	※54文字以内	※57文字以内		※64文字以内 1回		※30文字以内					
	その他（事由不明を含む。）	分類不能の職業	20人	その他		その他		8時～17時 30分～30分				
	※44文字以内	※54文字以内		※57文字以内		※64文字以内 1回		※30文字以内				
			人					時～時 分～分				
	※44文字以内	※54文字以内		※57文字以内		※64文字以内 回		※30文字以内				
			人					時～時 分～分				
	※44文字以内	※54文字以内		※57文字以内		※64文字以内 回		※30文字以内				

時間外労働
休日労働に関する協定届（特別条項）（続紙）

様式第9号の3の5（第70条関係）

2 / 2

必ずページ数及び総ページ数を入力してください。

臨時に限度時間を超えて労働させることができる場合	業務の種類 【事業場外】	労働者数 (満18歳以上の者)	1日 (任意)		1箇月 (時間外労働及び休日労働を合算した時間数。①については100時間未満に限る。)				1年 (時間外労働の次の時間数。①については720時間以内。②については960時間以内に限る。)				
			延長することができる時間数 法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	限度時間を超えて労働させることができる回数 (①については8回以内。②については任意。)	延長することができる時間数 及び休日労働の時間数 法定労働時間を超所定労働時間を超える時間数と休日労働の時間数を合算した時間数 (任意)	限度時間を超えた労働に係る割増賃金率	延長することができる時間数					
								法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)				
① 下記の者 以外の者	事業計画・経営企画の策定、見直し ※44文字以内	管理職業務従事者 ※54文字以内	3人	7時間 分	7時間 30分	4回	60時間 30分	70時間 分	35%	※50文字以内	550時間 分	670時間 分	※50文字以内
	※54文字以内												
	その他(事由不明を含む。) ○○○○○○○○○○ ※44文字以内	分類不能の職業 ※54文字以内	5人	6時間 分	6時間 30分	3回	55時間 分	65時間 分	35%	※50文字以内	450時間 分	570時間 分	※50文字以内
	※44文字以内	※54文字以内	人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	※50文字以内	時間 分	時間 分	※50文字以内
	※54文字以内												
	※44文字以内	※54文字以内	人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	※50文字以内	時間 分	時間 分	※50文字以内
	※54文字以内												
② 自動車の運転の業務に従事する労働者	季節的要因等による受注一般顧客の集中による業務の繁忙 ※44文字以内	自動車運転従事者 ※54文字以内	20人	6時間 分	6時間 30分	8回	75時間 分	85時間 分	35%	※50文字以内	750時間 分	870時間 分	※50文字以内
	※54文字以内												
	※44文字以内	※54文字以内	人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	※50文字以内	時間 分	時間 分	※50文字以内
		※54文字以内											
	※44文字以内	※54文字以内	人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	※50文字以内	時間 分	時間 分	※50文字以内
	※54文字以内												
	※44文字以内	※54文字以内	人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	※50文字以内	時間 分	時間 分	※50文字以内
	※54文字以内												